

特集

アンチエイジングが 泌尿器科診療を斬る！

企画にあたって

女性の社会での活躍に伴い、女性の健康上の悩みの解決は重要な課題となっています。女性の更年期障害はフェムテックやフェムケアの広がりから、最近では社会的にも注目を集めていますが、それと比較すると、男性の健康問題はやや取り残されている感があります。11月19日は国際男性デーと設定されていますが、その柱の1つに、男性の健康と社会的、感情的、物理的および精神的な幸福に焦点を当てるがあります。健康維持の視点からは、男性更年期障害の理解と男性の悩みを可視化し、それに対するケアは欠かせません。

日本でも今後、社会的な男性の健康意識の高まりが期待されており、抗加齢医学的視野から男性のさまざまな悩みを解決する Male+Technology の開発が進むことが望まれています。健康長寿を実現するためには、病気を退け若さを保つことが重要です。アンチエイジングの視点から見ても、泌尿器科医が関わる疾患は精巣、副腎、前立腺をはじめ、その治療に関連する病態や標的臓器を合わせると多岐にわたります。

今回の特集では、「泌尿器科診療をアンチエイジング的視点から考える」をテーマに、男性の更年期障害・加齢男性性腺機能低下 (late-onset hypogonadism : LOH 症候群)、ED、前立腺肥大症、フレイル・サルコペニア、男性不妊症、排尿機能、漢方療法、機能性食品、再生医療研究、ゲノム解析など、さまざまな視点からエキスパートに最新の研究や診断・治療について解説していただきました。若い泌尿器科医師にも刺激になる内容となっていると思います。本特集が皆様の日々の臨床やアンチエイジングに少しでもお役に立てれば幸いです。

順天堂大学大学院医学研究科
泌尿器科学デジタルセラピューティックス講座

井手 久満